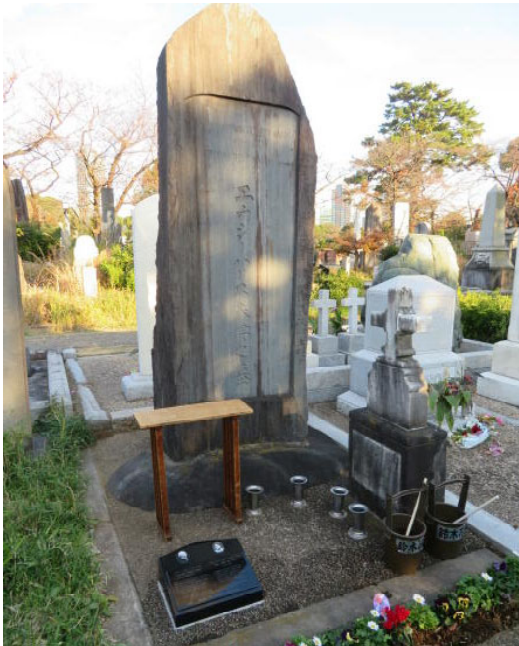


ハリス夫妻の墓誌完成！！



↑
墓誌



ハリス夫人召天 110 周年記念礼拝

青山霊園にあるハリスご夫妻のお墓の左下方に、お二人の功績を記した墓誌が今秋完成しました。

遺愛同窓会東京支部のハリスの会では悲願で、各支部・本部からの募金の協力もあってできました。

お墓だけがあっても、生前どのようなことをされた方々なのか今の状態ではわからず、ぜひ後輩の皆さんにもハリス夫妻の功績を知っていただきたいという願いがありました。

12月5日(木)13:30より渡辺正男(元日本基督教団函館教会牧師で遺愛学院理事)牧師の司式でハリス夫人召天110周年記念礼拝を青山学院アイビーホール礼拝堂で行いました。説教はハリス夫人と内村鑑三の交流から、ハリス夫人の思いやり、愛の深さを語っていただきました。

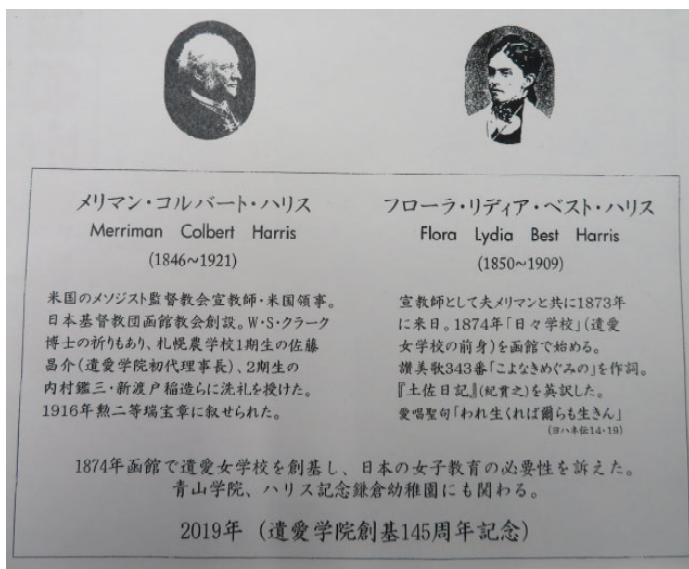
14:30から青山霊園で、墓誌完成披露を行いました。墓誌には、ハリス夫人が日日学校を始め、それが遺愛学院(遺愛女学校)の創基につながったこと。ハリス夫人は讃美歌343番の作詞者であり、「土佐日記」の英訳者であること。前のハリス夫人の墓に刻まれていた愛唱聖句が書かれています。

ハリス氏については日本基督教団函館教会の創設者であり、アメリカ領事であったこと。札幌農学校の1期生の佐藤昌介(北海道帝国大学初代総長、遺愛初代理事長)、2期生内村鑑三、新渡戸稲造に洗礼を授けていることが書かれています。

また、お二人は青山学院、ハリス記念鎌倉幼稚園の創設、発展にも寄与していることに触れています。

東京の渋谷方面に行くことがありましたら、ぜひ青山霊園のハリス夫妻のお墓に立ち寄り、禁教令が解けたばかりの明治初期に、高い志をもって函館にいらしたお二人の歩み、そして遺愛の歩みに思いを馳せていただければと思います。

2019年12月10日(火)



← 墓誌に刻まれている言葉